

研修内容概要

指定による研修

講座番号	301	講座名	小学校道徳教育指導力向上	定員	各校 1名
期日・会場	西部管内： 9月30日（金）13：25～16：25 県教育センター 東部管内： 10月 7日（金）13：25～16：25 県教育センター ※ この講座は、6月下旬頃に別途通知して参加者を募ります。				
対象者	・道徳教育推進教師又は校内で道徳教育を中心となって進める教員（公立小） ・特別支援学校小学部（準ずる教育）及び香川大学教育学部附属小学校は希望者				
本研修は、「特別の教科 道徳」を推進していく上での課題についての認識を深め、各学校における道徳教育の推進を図ることが目的です。					
〈主な内容〉 ① 中央研修受講者による研修報告「道徳教育指導者養成研修（中央研修）に参加して」 ② 大学教授による講話・演習「道徳科の授業づくりについて」 ③ 演習・協議「30分でできる授業づくり」 					



講座番号	302	講座名	中学校道德教育指導力向上	定員	各校 1名
期日・会場	10月21日（金）13：25～16：25 県教育センター ※ この講座は、6月下旬頃に別途通知して参加者を募ります。				
対象者	・ 道德教育推進教師又は校内で道德教育を中心となって進める教員（公立中） ・ 県立中学校、特別支援学校中学部（準ずる教育）、香川大学教育学部附属中学校及び私立中学校は希望者				
本研修は、「特別の教科 道德」を推進していく上での課題についての認識を深め、各学校における道德教育の推進を図ることが目的です。					
〈主な内容〉					
① 中央研修受講者による研修報告 「道德教育指導者養成研修（中央研修）に参加して」					
② 大学教授による講話・演習「道德科の授業づくり」					
③ 自校の取組の成果や課題等を参加者が協議する 研究協議「道德科の評価について」					



講座番号	303	講座名	高校・特別支援学校の オンライン学習実践	定員	各校 1名
期日・会場	11月29日（火）13：25～16：25 県教育センター 11月30日（水）13：25～16：25 県教育センター 上記のうち1日（受講日については、希望に添えない場合があります） ※ この講座は、別途通知します。				
対象者	高校、特別支援学校の ICT 推進リーダー又は校内で ICT 活用を中心となって進める教員（令和2年度の特別研修「ICT 活用教育推進研修会」及び「令和3年度 高校・特別支援学校のオンライン学習実践研修講座」を受講した者を除く）				
ICT 活用指導力	オンライン会議システムの機能を活かしながら授業や会議をすることができる				

本研修は、オンライン学習の実践に係る Web 会議システム等の操作技能の習得と授業での活用能力の向上を図ることが目的です。

〈主な内容〉

① 講話「教育の情報化に向けて」

② 演習Ⅰ「Web 会議システムの活用について」

③ 演習Ⅱ「オンライン上でのグループ協議」

④ 演習Ⅲ「オンライン上でのアンケート集計」



※ 演習ツールとしての Web 会議システムは、『Microsoft Teams』を使用します。

* Microsoft Teams は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。



講座番号	304	講座名	学校給食危機管理及び食育推進	定員	250
期日・会場	8月24日（水） 9：25～12：25 香川県庁ホール ※ この講座は、6月に別途通知して参加者を募ります。				
対象者	校（園）長・給食主任・食育担当教諭・栄養教諭・学校栄養職員（幼・こ・小・中・高・特）、市町教育委員会学校給食担当者、共同調理場所長、学校給食調理員等				

この講座では、学校における食に関する指導の推進と、その「生きた教材」となる学校給食の衛生管理及び危機管理等の視点から研修を行います。

今回は「食物アレルギー対応について」をテーマに

香川大学医学部附属病院

看護師 宮宇地 優子 様 より

ご講演をいただく予定です。





講座番号	305	講座名	香川県学校保健	定員	250
期日・会場	8月24日（水）13：25～16：25 香川県庁ホール ※ この講座は、6月に別途通知して参加者を募ります。				
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員、及び学校保健関係者（学校医・学校歯科医・学校薬剤師等）				

近年、児童生徒を取巻く社会環境の大きな変化にともない、対応すべき課題も、生活習慣病、喫煙・飲酒及び薬物乱用、性の問題行動、感染症、アレルギーの問題、いじめや不登校など、多岐にわたっています。

次代を担う児童生徒等の健康を守り、健康の大切さを伝えるために、学校、家庭、地域が連携を図り、課題解決に向け取り組むことが求められている現状を踏まえ、学校における健康教育の理解を深めたいと思います。



希望による研修

講座番号	306	講座名	小学校国語の授業づくり	定員	30
期日・会場	8月19日（金） 9：25～16：25 県教育センター				
対象者	小学校、中学校、特別支援学校小学部（準ずる教育）の教員 ※ この講座は、公開講演だけを聴講することもできます。公開講演のみに参加する方は、開催1週間前までにFAXを送付（p33～35 参照）してください。				

この研修では、基礎的・基本的な内容を押さえながら、国語科授業の具体化を演習形式で考えていきます。

前半は、全国学力・学習状況調査問題や香川県学習状況調査の問題とその結果を基に、香川の子供たちの状況の分析をします。

後半は、授業改善の視点を生かしながら、具体的な授業の進め方と評価の在り方について考えます。楽しく交流しながら授業改善の在り方を探りましょう。



井上先生のお話には、国語が好きと言える子供たちを育てるためのヒントがいっぱいです。

〈午後〉公開講演（13:25～16:20）

「小学校国語の授業づくり-ICTを活用する時代の個別化とアクティブ・ラーニングの学習-」

元文部科学省 教科調査官 井上 一郎 先生



講座番号	307	講座名	中学校国語の授業づくり	定員	20
期日・会場	7月26日（火）13：25～16：25 県教育センター				
対象者	中学校、特別支援学校中学部（準ずる教育）の教員				



生徒の目が輝く
国語の授業がしたい。

そんな思いの先生方！
分かる国語の授業づくりに取り組みませんか。

国語好きの
生徒を育てたい。





研修の前半では、全国学力・学習状況調査の問題や香川県学習状況調査の問題とその結果を基に、香川の子供たちの状況を分析します。

後半は、指導の改善点を踏まえた授業づくりを、2学期に実践できる題材を基に、演習形式で考えていきます。

授業が変われば、生徒が変わる。

自己研修のヒントがつかめるかもしれません。その第一歩をこの研修から始めましょう。

講座番号	308	講座名	高校国語の授業改善	定員	10
期日・会場	10月14日（金）13：25～16：25 県教育センター				
対象者	高等学校、特別支援学校高等部（準ずる教育）の教員				

本研修では、主に言語活動を軸とした国語の授業実践についての研究協議を行います。

思考力・判断力・表現力をはぐくむ「言語活動の充実」の成果と課題は、新学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」につながるものです。

単元指導計画の中で効果的に言語活動を位置づけ、生徒の主体的な学びを引き出す授業づくりの工夫について、グループ協議を通して考えていきましょう。

An illustration of a classroom scene. A male teacher in a brown jacket stands at the back of the room, holding a book. Several female students in blue school uniforms are seated at their desks, which are arranged in rows. They are looking towards the front of the classroom, some with papers or books open. The scene is brightly lit, suggesting a typical classroom environment.



講座番号	309	講座名	小学校算数の授業づくり	定員	30
期日・会場	7月27日（水）13：25～16：25 県教育センター				
対象者	小学校、特別支援学校小学部（準ずる教育）の教員				

本研修では、主にグループでの演習を通して、算数の授業改善について考えます。

前半は、全国学力・学習状況調査の問題と香川県学習状況調査の質問紙調査の結果を参考に、香川の子供たちの「つまずき」や、その支援について、グループで考えます。

後半は、前半での協議を基に、具体的な授業の進め方と評価の在り方について考えます。授業づくりについて、演習を交えながら一緒に考えていきましょう。






講座番号	310	講座名	中学校数学の授業づくり	定員	30
期日・会場	7月26日(火) 9:25～12:25 県教育センター				
対象者	中学校、特別支援学校中学部(準ずる教育)の教員				

本研修では、これまでの全国学力・学習状況調査問題とその結果等を基に、生徒がどこでつまづいているのか、これまでの指導をどのように改善すればよいのか、などについて考えます。

前半は、全国学力・学習状況調査の問題と香川県学習状況調査の質問紙調査の結果を参考に、香川の子供たちの「つまづき」や、その支援について、グループで考えます。

後半は、前半での協議を基に、授業づくりについて、演習を交えて一緒に考えていく研修を行います。

講座番号	311	講座名	高校数学の授業改善	定員	10
期日・会場	10月14日(金) 13:25～16:25 県教育センター				
対象者	高等学校、特別支援学校高等部(準ずる教育)の教員				



本研修では、新学習指導要領改訂のポイントを確認し、高校数学の授業改善について探究します。

「どのように学ぶか」を意識しながら、数学の1時間の授業展開案について参加者で協議することで、今後の授業改善に必要な視点を得ることを目指します。

授業改善に積極的に取り組みたい方のご参加をお待ちしております。



講座番号	312	講座名	小学校外国語の授業づくり	定員	30
期日・会場	8月 5日（金） 9：25～12：25 県教育センター				
対象者	小学校、中学校、特別支援学校小学部、中学部（準ずる教育）の教員				

本研修では、基礎的・基本的な内容を押さえながら、外国語活動・外国語科の授業の具体化を演習形式で考えていきます。

前半は、学習指導要領を中心に、これからの小学校における外国語教育の在り方や評価について確認をします。

後半は、講話や演習、協議を交え、具体的な授業の進め方を考えます。教材・教科書を基に互いにアイデアを交流させながら、明日からの授業について考えていきましょう。





講座番号	313	講座名	中学校外国語の授業づくり	定員	25
期日・会場	8月17日(水) 13:25～16:25 県教育センター				
対象者	中学校、特別支援学校中学部(準ずる教育)の教員				

Bird
Butterfly
Banana

ENGLISH

本研修では、学習指導要領の趣旨を踏まえた、外国語の授業について考えます。

前半は、「発信力向上に向けたスピーキングテストの活用について」協議します。スピーキング力を高める効果的な指導について、実践例を基に協議し、今後の指導方法について検討します。

後半は、各自のパフォーマンステストを基に、「指導と評価の一体化の具現化」について協議し、改善点を探るとともに、指導と評価を捉える視点について見識を深めます。

講座番号	314	講座名	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	定員	90
期日・会場	6月14日(火) 13:25～16:25 県教育センター ※ この講座は、4月に別途通知して参加者を募ります。				
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
学習指導要領で示された、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について、基本的な理解を深め、具体的な改善方法や視点を得るための研修です。 ☐ 公開講演 「『主体的・対話的で深い学び』のために ー非認知能力から考えるー」 岡山大学 准教授 中山 芳一 先生 ☐ 演習 校種別に分かれ、授業づくりについての演習を通して、 授業改善の具体的な手立てについて考えます。 					



講座番号	315	講座名	ネットトラブルの現状と対応	定員	20
期日・会場	8月 2日（火） 9：25～12：25 県教育センター				
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				

保護者や子供から「ネットのことで・・・」と相談されると、「ネットのことはよく分からないのに・・・」と不安になる先生はいませんか？

子供がインターネット上で遭遇する様々なトラブルは、いじめや不登校等、学校生活の諸問題と密接に関わっています。このようなネットトラブルは、現実の人間関係や子供が抱える悩みに立ち戻り解決していくことが重要です。

この研修では、子供を取り巻くネット事情を理解したり、事例に基づく演習をしたりすることを通して、ネットトラブルに対応するコツを学んでいきます。

An illustration of three children standing side-by-side. The child on the left is a boy wearing a blue baseball cap and a green shirt, holding a blue smartphone. The child in the middle is a girl wearing a yellow baseball cap with 'SKF' on it and a yellow shirt, holding a white smartphone. The child on the right is a boy wearing a green baseball cap and a blue shirt, holding a yellow smartphone. They are all looking at their phones.

講座番号	316	講座名	教育相談の校内体制づくり ー不登校の子供へのチーム援助ー	定員	30
期日・会場	7月28日(木) 9:25～12:25 県教育センター				
対象者	小学校、中学校の教員				

不登校の早期対応のための情報共有と組織的支援を効果的に行う支援体制づくりや、ケース会議の進め方について考えます。アンケートの作成例や、記録シートなど、日々忙しい業務の中でも簡単にチーム支援を始められるアイデアを紹介します。

- ・ それぞれの立場でできること
- ・ 情報を共有する手立て
- ・ ケース会議の進め方

また、既に不登校が始まっている場合には、どんな支援ができるかを、段階別、対象別に考えます。子供や保護者の不安に寄り添う声かけなど、具体的なアプローチの仕方について、お互いに情報交換しながら、無理なくできる教育相談のヒントを見つけましょう。





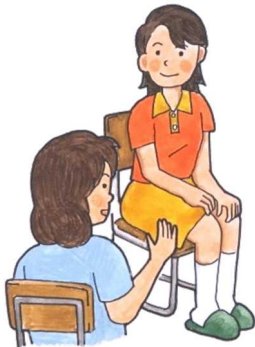
講座番号	317	講座名	発達障害のある子供の 保護者との教育相談	定員	32
期日・会場	8月18日(木) 9:25～12:25 県教育センター				
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員				

「あの一言さえ言わなかったら、あとの事態はずいぶんと変わっていたかも」ということはありますか？

保護者と教師がよりよい関係を築くことで、子供たちは安心して学校（園）生活を送ることができます。

特別支援教育における教育相談では、どのようなことを心にとめて保護者の話を聴いていけばよいのでしょうか。

子供や保護者の困り感についてしっかりと耳を傾けながら、具体的な支援策を保護者と一緒に考えていく教育相談の技法について演習を行います。





講座番号	318	講座名	教育相談の視点からの ホームルーム経営	定員	20
期日・会場	8月18日（木）13：25～16：25 県教育センター				
対象者	高等学校、特別支援学校高等部の教員				

本研修では、予防的・開発的な教育相談を日常のホームルーム経営の中で進めていくための考え方を理解しつつ、参加された先生方のアイデアから学びあうことを目指します。

教育相談は、生徒や保護者との「何事も生じていないとき」の関わりが大切と言われます。しかし、実際に行うとなると、「何をすればいいのか」「本当に労力に見合う効果があるのか」など、疑問に思うこともあるのではないのでしょうか。

先生方が自分らしいホームルーム経営のあり方を見つけ出す一助になればと思っています。



講座番号	319	講座名	こんなに使える表計算ソフト(関数編)	定員	40
期日・会場	8月18日(木) 13:25～16:25 情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)				
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員及び事務職員				
ICT活用指導力	表計算ソフトを活用して児童・生徒の学習状況・成績等を管理したり、集計したりすることができる				
この講座は初心者の方も安心して受講できます。 データの入力、書式の設定、簡単な数式の入力等の Excel[*]の基本操作のできる方で日頃データ入力だけ利用されている方、関数が苦手な方、これから関数を利用して資料を作成したい方、奮って参加してください。 表計算ソフト Excel の関数を基礎から学びたい方を対象に、主に成績処理を題材として、基本的な関数の利用方法を習得し、活用することを目的とした講座です。 基本的な関数から論理・検索関数等、実務に役立つ関数を学びます。					
* Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。					

講座番号	320	講座名	プレゼンソフトを用いた授業教材作成	定員	40
期日・会場	8月19日(金) 13:25～16:25 情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)				
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	わかりやすく説明したり、生徒の思考や理解を深めたりするために、タブレット端末等を活用して資料等を効果的に提示することができる				
PowerPoint を用いて、分かりやすく効果的な資料作成のポイントやプレゼンテーションの基礎を学びます。 また、スライドムービーを用いた教材作成および作成した教材をインターネット上へアップロードする方法を学びます。  * PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。					

講座番号	321	講座名	はじめてさわるタブレット端末 (iPad 編)	定員	20
期日・会場	8月 5日(金) 13:25～16:25 情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)				
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員及び事務職員				
ICT活用指導力	学習に対する児童・生徒の興味・関心を高めるために、タブレット端末を活用することができる				

この講座は初心者の方も安心して受講できます。
タブレット端末に興味はあるが、さわったことがない方、使ってみたいけどきっかけがつかめない方・・・
まずはこの講座で体験してみましょう。

タブレット端末(iPad)の基本的な機能や操作方法について学び、実際に操作体験をします。



* iPad は、Apple inc.の登録商標です。

講座番号	322	講座名	Google Workspace 活用【7月開催】	定員	30
期日・会場	7月26日（火）13：25～16：25 県教育センター ※ 講座番号323と同内容となります。				
対象者	中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	Google Workspace を授業で活用できるようになる				
Google for Education で用意されるアプリ群（Google Workspace for Education）を授業で活用できるように、演習を通して学び、ICT端末活用のスキルアップを目指します。 《主な内容》 ・ 講話 「ICT端末の利活用」 ・ 演習 「Google Workspaceの活用」 Chromebookについて Google Classroom Google Forms Googleドキュメント、Googleスプレッドシート、 Googleスライド、Jamboard 					
* Google Workspace、Google for Education、Google Workspace for Education、Chromebook、Google Forms、Googleドキュメント、Googleスプレッドシート、Googleスライド、Jamboardは、Google LLCの商標または登録商標です。					

講座番号	323	講座名	Google Workspace 活用【8月開催】	定員	30
期日・会場	8月17日（水）13：25～16：25 県教育センター ※ 講座番号322と同内容となります。				
対象者	中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	Google Workspace を授業で活用できるようになる				

Google for Education で用意されるアプリ群（Google Workspace for Education）を授業で活用できるように、演習を通して学び、ICT端末活用のスキルアップを目指します。

《主な内容》

- ・ 講話 「ICT端末の利活用」
- ・ 演習 「Google Workspaceの活用」
Chromebookについて
Google Classroom
Google Forms
Googleドキュメント、Googleスプレッドシート、
Googleスライド、Jamboard



* Google Workspace、Google for Education、Google Workspace for Education、Chromebook、Google Forms、Googleドキュメント、Googleスプレッドシート、Googleスライド、Jamboardは、Google LLCの商標または登録商標です。

講座番号	324	講座名	Teams 活用(含 Office365)【7月開催】	定員	30
期日・会場	7月26日(火) 9:25～12:25 県教育センター ※ 講座番号325と同内容となります。				
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	Office365 を授業で活用できるようになる				

Microsoft Office365で用意されるTeams（含Office365）を授業で活用できるように、演習を通して学び、ICT端末活用のスキルアップを目指します。

《主な内容》

講話 「ICT端末の利活用」

講話・演習 「Teams（含Office365）の活用」

- Teamsについて
- Word、Excel、PowerPointを用いた共同編集
- Forms
- 課題配信
- ClassNotebook

＊ Microsoft Office365、Teams、Word、Excel、PowerPoint、Forms、ClassNotebookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。



講座番号	325	講座名	Teams 活用(含 Office365)【8月開催】	定員	30
期日・会場	8月17日(水) 9:25～12:25 県教育センター ※ 講座番号324と同内容となります。				
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	Office365 を授業で活用できるようになる				
Microsoft Office365で用意されるTeams（含Office365）を授業で活用できるように、演習を通して学び、ICT端末活用のスキルアップを目指します。 《主な内容》 講話 「ICT端末の利活用」 講話・演習 「Teams（含Office365）の活用」 ・ Teamsについて ・ Word、Excel、PowerPointを用いた共同編集 ・ Forms ・ 課題配信 ・ ClassNotebook					



＊ Microsoft Office365、Teams、Word、Excel、PowerPoint、Forms、ClassNotebookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。



講座番号	326	講座名	ICT 端末と学習支援ツールを活用した授業づくり(基礎編) －ロイロノート・スクール / MetaMoji ClassRoom－	定員	40
期日・会場	8月18日(木) 9:25～12:25 県教育センター				
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	協働学習を活性化し児童生徒の思考や理解を深めたり、表現を豊かにしたりするために、ICT 端末と学習支援ツールを効果的に活用して指導することができる				
ICT 端末と学習支援ツールを活用した協働学習の指導方法について演習を通して学び、ICT を活用した授業づくりを参加者と一緒に考える研修です。授業であまり活用したことがない方を対象とした基礎的な内容となります。 ・ ロイロノート・スクールと MetaMoji ClassRoom に分かれて演習を行います。 ・ ICT を活用した協働学習の3場面(①発表や話し合い、②協働での意見整理、③協働制作)を想定し、一連の指導方法について演習を通して学びます。 * ロイロノート・スクールは LoiLo ㈱の登録商標です。 MetaMoji ClassRoom は MetaMoji ㈱の登録商標です。					





講座番号	327	講座名	ICT 端末と学習支援ツールを活用した授業づくり(応用編) －ロイロノート・スクール / MetaMoji ClassRoom－	定員	40
期日・会場	8月18日(木) 13:25～16:25 県教育センター				
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	協働学習を活性化し児童生徒の思考や理解を深めたり、表現を豊かにしたりするために、ICT 端末と学習支援ツールを効果的に活用して指導することができる				
ICT 端末と学習支援ツールを活用した協働学習の指導方法について演習を通して学び、ICT を活用した授業づくりを参加者と一緒に考える研修です。授業で活用したことがある方を対象とした内容となります。					
・ ロイロノート・スクールと MetaMoji ClassRoom に分かれて演習を行います。 ・ ICT を活用した協働学習の3場面(①発表や話し合い、②協働での意見整理、③協働制作)を想定し、一連の指導方法について演習を通して学びます。					
* ロイロノート・スクールは LoiLo(株)の登録商標です。 MetaMoji ClassRoom は MetaMoji(株)の登録商標です。					





講座番号	328	講座名	Google for Education を活用した授業づくり(基礎編)	定員	40
期日・会場	8月19日(金) 9:25～12:25 県教育センター				
対象者	小学校、特別支援学校小学部の教員				
ICT活用指導力	協働学習を活性化し児童の思考や理解を深めたり、表現を豊かにしたりするために、ICT 端末と学習支援ツールを効果的に活用して指導することができる				
主に小学校における Google for Education を活用した協働学習の指導方法について演習を通して学び、ICT を活用した授業づくりを参加者と一緒に考える研修です。授業で活用したことがある方を対象とした内容となります。 - Chromebook と Google Classroom の基本操作を学びます。 - Google スライド、Google スプレッドシート、Google Jamboard 等を活用した協働学習の3場面(①発表や話し合い、②協働での意見整理、③協働制作)を想定し、一連の指導方法について演習を通して学びます。					



* Google for Education、Chromebook、Google Classroom、Google スライド、Google スプレッドシート、Google Jamboard は、Google LLC の商標または登録商標です。

講座番号	329	講座名	Google for Education を活用した授業づくり(応用編)	定員	40
期日・会場	8月19日(金) 13:25～16:25 県教育センター				
対象者	小学校、特別支援学校小学部の教員				
ICT活用指導力	協働学習を活性化し児童の思考や理解を深めたり、表現を豊かにしたりするために、ICT 端末と学習支援ツールを効果的に活用して指導することができる				
主に小学校における Google for Education を活用した協働学習の指導方法について演習を通して学び、ICT を活用した授業づくりを参加者と一緒に考える研修です。授業で活用したことがある方を対象とした内容となります。 - Google スライド、Google スプレッドシート、Google Jamboard 等を活用した協働学習の3場面(①発表や話し合い、②協働での意見整理、③協働制作)を想定し、一連の指導方法について演習を通して学びます。 - Google フォームを活用したアンケートや Google Meet を活用した遠隔教育について演習を通して学びます。					



* Google for Education、Google スライド、Google スプレッドシート、Google Jamboard、Google フォーム、Google Meet は、Google LLC の商標または登録商標です。

講座番号	330	講座名	小・中学校のオンライン学習実践	定員	30
期日・会場	11月 1日（火）13：25～16：25 県教育センター				
対象者	小学校、中学校の教員				
ICT活用指導力	オンライン会議システムの機能を活かしながら授業や会議をすることができる				

オンライン学習の実践に係る Web 会議システム等の操作技能の習得と授業での活用能力の向上を図る研修です。

〈主な内容〉

- ① 講話「教育の情報化に向けて」
- ② 演習Ⅰ「Web 会議システムの活用について」
- ③ 演習Ⅱ「オンライン上でのグループ協議」
- ④ 演習Ⅲ「授業等での具体的な活用について」

※ 演習ツールとしての Web 会議システムは、『Microsoft Teams』を使用します。

* Microsoft Teams は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。





講座番号	331	講座名	特別支援教育における タブレット端末活用(iPad 編)	定員	40
期日・会場	7月27日(水) 9:25～12:25 県教育センター				
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	わかりやすく説明したり、生徒の思考や理解を深めたりするために、タブレット 端末を活用することができる				
主に、特別支援学級担当もしくは特別支援教育に携わっている方を対象としてタブレット 端末を活用するヒントについて学ぶことのできる研修です。 基本的な考え方や便利なアプリなどについて実際に体験しながら学ぶことができます。 ・「特別支援教育でのタブレット端末活用の現状と課題」(講話) ・「タブレット端末入門」(講話・演習) 「タブレット端末アプリ体験」 「タブレット端末を使った授業体験」					



* iPad は、Apple inc.の登録商標です。



* iPad は、Apple inc.の登録商標です。

講座番号	332	講座名	特別支援教育における タブレット端末活用(Windows 編)	定員	午前 午後 各 15
期日・会場	8月17日(水) 9:25～12:25 情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ) 13:25～16:25 情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ) 上記のうちいずれかの時間帯(同内容)				
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	わかりやすく説明したり、生徒の思考や理解を深めたりするために、タブレット 端末を活用することができる				
主に、特別支援学級担当もしくは特別支援教育に携わっている方を対象としてタブレット 端末を活用するヒントについて学ぶことのできる研修です。 基本的な考え方や便利なアプリなどについて実際に体験しながら学ぶことができます。 ・「特別支援教育でのタブレット端末活用の現状と課題」(講話) ・「タブレット端末入門」(講話・演習) 「タブレット端末アプリ体験」 「タブレット端末を使った授業体験」					



* WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。

講座番号	333	講座名	さわってみよう ビジュアルプログラミング言語(スクラッチ編)	定員	40
期日・会場	7月21日(木) 13:25～16:25 情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)				
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員及び事務職員				

この講座は初心者の方も安心して受講できます。
ビジュアルプログラミング言語に興味はあるが、さわったことがない方、
使ってみたいけどきっかけがつかめない方・・・
まずはこの講座で「スクラッチ」を体験してみましょう。



ビジュアルプログラミング言語(スクラッチ)の基本的な扱い方について学び、
実際にプログラミング体験をします。

※ Scratch は MIT メディア・ラボの Lifelong Kindergarten グループによって開発されました。
くわしくは <https://scratch.mit.edu> をご参照ください。

番 講 座 号	334	講座名	小学校プログラミング教育の 授業づくり(基礎編)	定 員	2 5
期 日 ・ 会 場	7 月 2 9 日 (金) 9 : 2 5 ~ 1 2 : 2 5 県教育センター				
対 象 者	小学校、特別支援学校小学部の教員				

小学校プログラミング教育の授業づくりについて、参加者と一緒に考える研修※です。

- ・ 小学校でのプログラミング教育必修化の背景と経緯について、Society5.0にも触れながら解説します。
- ・ 学習指導要領と「小学校プログラミング教育の手引」「教育の情報化の手引」を参考に、小学校プログラミング教育について理解を深めます。
- ・ アンブラグドプログラミング、ビジュアルプログラミング、フィジカルプログラミングなどを実際に体験しながらプログラミング的思考の育成について学びます。



※ 本研修ではChromebookを使用しますが、紹介するプログラミング教材はiPadやWindowsPCでも利用できる教材です。

※ 本研修は、令和3年度の専門研修「プログラミング教育の授業づくり（基礎編）」および、研修サポート事業における「小学校プログラミング教育の授業づくり（基礎編）」とほぼ同じ内容です。すでに、これらの研修を受講された方は、専門研修335（教科編）の受講をお薦めします。

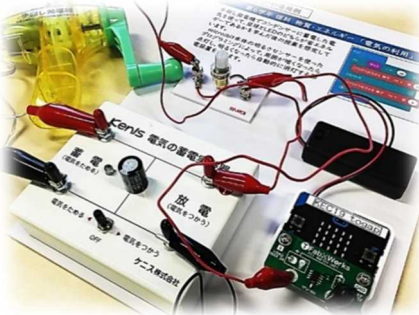
* iPadはApple inc.の登録商標です。ChromebookはGoogle LLC社の登録商標です。WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。



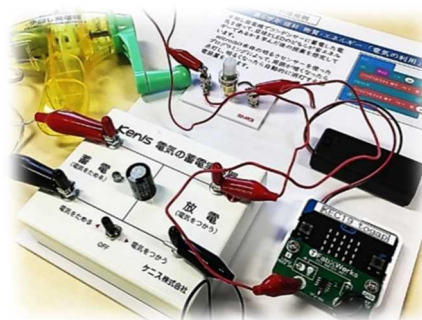
講座番号	335	講座名	小学校プログラミング教育の 授業づくり(教科編)	定員	25
期日・会場	7月29日(金) 13:25～16:25 県教育センター				
対象者	小学校、特別支援学校小学部の教員				

「小学校プログラミング教育の手引」での分類における、A分類およびB分類のプログラミング教育の授業づくりについて、参加者と一緒に考える研修です。

- 文部科学省の小学校プログラミング教育に関する研修教材や「未来の学びコンソーシアム」の実践事例等を参考に、実際にプログラミング教材を使いながら、授業づくりのポイントを解説します。
- 先行事例や各種教材の特徴についての情報を提供し、各学校のICT環境に合わせた年間指導計画の立案や授業づくりのヒントとします。



プログラミング教材の例



プログラミング教材の例

講座番号	336	講座名	特別支援教育障害種別 －知的障害、発達障害、自閉症－	定員	40
期日・会場	6月17日（金） 9：25～16：10 香川県立香川中部養護学校 ※ この講座は、5月に別途通知して参加者を募ります。				
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、特別支援学校の教員				

〈午前〉

会場校である香川中部養護学校の授業を見せていただき、指導方法や教材・教具について考えます。小学部、中学部の分科会に分かれ、実際の授業に触れることで、発達の段階に応じた課題設定や支援の在り方を一緒に勉強しましょう。

〈午後〉

「知的障害」「発達障害」の2つのテーマの分科会に分かれて研修報告や実践発表を聞き、学びを深めます。

明日からの支援のヒントがきっと見つかります。



講座番号	337	講座名	特別支援教育障害種別 －病弱、聴覚・言語障害、肢体不自由、視覚障害－	定員	40
期日・会場	7月 1日（金） 9：25～16：10 香川県立善通寺養護学校 ※ この講座は、5月に別途通知して参加者を募ります。				
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、特別支援学校の教員				



〈午前〉

会場校である善通寺養護学校の授業を見せていただき、授業研究を行います。

小学部、中学部に分かれ、実践に触れることで、症状や発達の段階に応じた具体的な指導方法について学びを深めましょう。

〈午後〉

「肢体不自由・病弱」、「知的障害」、「聴覚・言語障害、視覚障害」のテーマで分科会に分かれ、研修報告や実践発表を基に障害特性に応じた指導・支援の工夫について学びます。

明日からの支援のヒントがきっと見つかります。



講座番号	338	講座名	管理職マネジメント	定員	30
期日・会場	11月10日（木）13：15～16：25 県教育センター				
対象者	小学校、中学校の校長、副校長、教頭				

学校運営に関する高度で専門的な知識や技能を習得し、組織的に学校を運営する実践力を高めます。主な内容は以下の2点です。

① 公開講演「特別支援教育（発達障害）」
香川大学教育学部 教授 坂井聡先生を講師にお迎えします。
最近、増加している特別な支援が必要な児童生徒について、その対応をするにあたり管理職としてぜひ知っておく必要がある内容について学びます。

② 講話・研究協議「法に基づく生徒指導対応について」
「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果から県全体の傾向をつかみ、様々なケースについて、管理職として法に基づきどのように対応すべきかを協議します。スクールロイヤーと義務教育課課長補佐が、問題提起や助言を行います。



講座番号	339	講座名	子供の命を守る！ 「南海地震防災シミュレーション」	定員	30
期日・会場	7月27日（水） 9：25～16：10 県防災センター・県消防学校				
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員及び事務職員				

東日本大震災では、徹底した防災教育を行っていた釜石市において、出席児童生徒の全員が助かりました。30年以内に70～80%の確率で起こるとされる南海トラフを震源とする巨大地震が発生したときに備え、子供たちの命を守る方策を考えていきましょう。

内容

- ① 実習「災害体験」（地震体験・煙避難体験・地震体験・暴風体験 等）
- ② 講話「南海地震の被害想定を踏まえた備えについて」
- ③ 講話「緊急地震速報の活用について」
- ④ 南海地震防災シミュレーション

県防災センターや高松地方気象台の方々からアドバイスをいただきます。

講座番号	340	講座名	災害時の対応訓練	定員	20
期日・会場	8月22日（月） 9：25～16：25 香川大学林町キャンパス				
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員及び事務職員				
災害発生時に、状況を判断し、意志決定を行い、行動を起こすという一連の訓練を経て災害時の実践力の習得を目指します。災害発生時に児童生徒の安全確保・避難誘導の初期対応を行うであろう担任等をされている先生方にも、災害時に学校運営を行う可能性のある管理職の先生方にも学びの多い内容となっています。 研修内容（予定） ① 災害対応についての講話 ② バーチャルリアリティを用いて災害状況を再現した訓練システムを活用した演習 ③ HUG(避難所運営ゲーム) ④ 研修の振り返り					

講座番号	341	講座名	地元の自然から学ぶ！ さぬきの森フィールドワーク	定員	20
期日・会場	7月25日（月）10：00～16：00 国営讃岐まんのう公園				
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員				

様々な教科や機会において環境教育の視点は重要であり、地元の自然を理解することがその基本となります。国営讃岐まんのう公園において、室内での講話・演習や野外フィールドワーク（「さぬきの森・自然生態園エリア」において、瀬戸内海地域に特徴的な里山を巡る体験活動）を通して、郷土の自然を新たな視点で見つめ直し、環境学習のポイントや伝え方を学びます。

- 講師：インタープリターボランティア 井上博夫氏
（環境省：環境カウンセラー、高松市公立学校特別非常勤講師）
- 内容
 - 【午 前】・ 環境教育プログラム[室内]
 - 【午 後】・ 環境教育体験型アクティビティー[室内]
 - ・ さぬきの森フィールドワーク(※)



※ 90 分程度の野外フィールドワーク（主に木陰での活動）を予定しています。野外実習ができる服装（長袖・長ズボン・歩きやすい靴・帽子）で参加してください。

講座番号	342	講座名	香川の「ジオ教材」 フィールドワークプログラム	定員	20
期日・会場	12月26日（月） 9：25～16：25 県内のジオサイト ※ この講座は10月頃に別途通知して、受講者を募ります。				
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ 高松市立小・中学校の教員は受講対象者ではありません。 ※ 高松第一高等学校の教員は受講対象者です。				
香川県には、世界的に貴重なジオサイトや石の文化など、世界ジオパークの室戸や山陰海岸に負けないくらいの素材が豊富にあります。讃岐のジオサイトについて、香川大学創造工学部の長谷川修一教授に解説をしていただきます。地学分野の基礎知識や指導方法の向上を図るとともに、地元の自然を教材化していきましょう。 ※ 野外観察の場所は変更する場合があります。 ※ 参加する際は、基本的な地学用語等を理解しておいてください。 ※ 定員を上回る申込があった場合、担当授業の専門性、過去の本研修講座への参加回数等により受講者を決定させていただきます。					

講座番号	343	講座名	理科実習教諭のための教材開発	定員	20
期日・会場	7月 1日（金）13：25～16：25 県教育センター				
対象者	理科実習教諭（高）				

理科実習教諭として必要な専門知識に関する講話や、実験・観察を行う実習、各先生方からの情報を基にした理科実習教諭の業務に係る研究協議を行います。

実習内容は未定ですが、ICT の活用を含む実習を予定しています。

各校に一人ずつしか配置されていない職種ですので、積極的に参加していただき、日頃の業務の成果や課題について、共有していきましょう。



教職大学院連携研修

講座番号	401	講座名	資質・能力を育む教科の授業づくり	定員	50
期日・会場	8月17日（水） 9：25～12：25 各所属校等 ※ この講座はオンライン研修（同時双方向型）での開催になります。				
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ 私立学校及び香川高等専門学校の教員は受講対象者ではありません。				
「資質・能力を育む」とはどのようなことでしょうか。「教科学習を通じて資質・能力を育む」とはどのようなことを様々な実践事例を通じて共に考えていくことを目的とします。 「知識」とは異なり、「資質・能力」は人間が本来内に持っている能力だと言われます。 「資質・能力」を使う学習活動が、当の「資質・能力」を育むと言われます。こうした考え方を納得できると、授業を考える視野が広がります。 〈主な内容〉※小・中学校での実践を想定した研修です。 ① 「資質・能力の形成と教科学習」（講話） ② 「資質・能力を使ってテキストを読み解く学習活動」（演習） ③ 「学習活動を駆使した授業の分析」（演習） なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長及び香川大学大学院教育学研究科長による「受講証明書」が発行されます。					

講座番号	402	講座名	道徳科の授業づくり	定員	50
期日・会場	7月27日（水） 13：25～16：25 県教育センター				
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ 私立学校及び香川高等専門学校の教員は受講対象者ではありません。				
道徳科の授業づくりについて、内容項目の理解や教材の分析等、具体的な演習や講話を通して、大切にしたい視点や考え方を学びます。特に、授業づくりの多様な指導方法に関して、解説等で確認し実践事例より工夫や改善点を理解したり、ICT活用についての演習（グループワーク）を通して大切にしたい点を確認したりすることで授業を考える視野が広がります。 〈主な内容〉※小・中学校の教材を使用します。 講話「特別の教科 道徳における多様な指導の在り方」 講話・演習「道徳科におけるICTの活用」 なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長及び香川大学大学院教育学研究科長による「受講証明書」が発行されます。					

講座番号	403	講座名	授業支援システムを活用した学習活動の創造	定員	午前 午後 各30
期日・会場	8月 5日(金) 9:25～12:25 県教育センター 13:25～16:25 県教育センター 上記のうちいずれかの時間帯(受講時間帯は選択できません。)				
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ 私立学校及び香川高等専門学校の教員は受講対象者ではありません。				
ICT活用指導力	教育効果を上げるためには、どの学習場面にどのようにタブレット端末を活用すればよいか、計画することができる。				
学校現場において、近年、大型提示装置(電子黒板やプロジェクタとスクリーンなど)・実物投影装置・デジタルカメラ・デジタル教科書等の整備が急速に進められています。加えて、1人1台端末(タブレット・PC等)の実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、「GIGA スクール構想」におけるハード・ソフト・人材を一体とした整備が進められています。 効果的な授業実践を実現するには、整備された ICT 機器/環境を どのように活用すればよいのでしょうか。主体的・対話的な演習と講話を通して、考えを深めたいと思います。 〈主な内容〉※小・中学校での実践を想定した研修が中心となります。 ○ 情報活用能力の育成並びに情報教育の在り方について(講話) ○ ICT 機器を活用した授業実践事例(講話) ○ ICT 機器に触れながら、ICT 活用授業を構想しよう(演習) ○ 演習の成果を共有しよう。→効果的な ICT 活用授業のポイントとは?(演習・講話) なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長及び香川大学大学院教育学研究科長による「受講証明書」が発行されます。					



講座番号	404	講座名	授業における特別支援教育	定員	50
期日・会場	7月21日(木) 9:25～12:25 県教育センター				
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ 私立学校及び香川高等専門学校の教員は受講対象者ではありません。				
インクルーシブ教育システム構築の理念に基づき、すべての子どもたちに「わかる授業」を行うための集団全体への効果的な一斉指導の工夫（ユニバーサルデザイン）や、支援を要する子どもの学習参加を保障するための個に応じた支援の工夫（合理的配慮）について、講話と演習を通して考えます。 ○ 前半(理論編) 「ユニバーサルデザインと合理的配慮」 校種別グループ演習 ○ 後半(実践編) ※主に小・中学校での実践を想定 「授業のユニバーサルデザイン」 校種別グループ演習 なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長及び香川大学大学院教育学研究科長による「受講証明書」が発行されます。					



講座番号	405	講座名	学校の危機管理研究Ⅰ－①	定員	120
期日・会場	8月 2日(火) 8:50～16:15 各所属校等 ※ この講座は、オンライン研修(同時双方向型)での開催になります。				
対象者	教職経験年数4年以上の小学校、中学校の教員 ※ 私立学校の教員は受講対象者ではありません。				
学校では、様々な危機的状況が発生しています。危機的な状況を未然に防ぎ、的確に対応することにより、子供たちが安心して学べる環境を確保することができます。 危機対応能力を身に付けることをめざし、学校で生じる危機に対応するために必要な校内体制づくりの視点や考え方について、講話と演習により学びます。 ○ 学校の危機管理と学校安全の考え方 ○ 学校の危機管理と積極的生徒指導  本講座は単独受講が可能です。が、「406 学校の危機管理研究Ⅰ－②」と合わせて受講することで、学校における危機管理研究の全体的な考え方を学ぶことができます。 なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長及び香川大学大学院教育学研究科長による「受講証明書」が発行されます。 ※ さらに研修を深めたい方は、香川大学教職大学院が実施する「学校の危機管理研究Ⅱ」の授業講座を無償で受講することができます。詳しくは、香川大学教職大学院のWebサイトをご覧ください。					

講座番号	406	講座名	学校の危機管理研究Ⅰ－②	定員	120
期日・会場	8月 3日(水) 8:50～16:15 各所属校等 ※ この講座は、オンライン研修(同時双方向型)での開催になります。				
対象者	教職経験年数4年以上の小学校、中学校の教員 ※ 私立学校の教員は受講対象者ではありません。				
学校では、様々な危機的状況が発生しています。危機的な状況を未然に防ぎ、的確に対応することにより、子供たちが安心して学べる環境を確保することができます。 危機対応能力を身に付けることをめざし、学校で生じる危機に対応するために必要な校内体制づくりの視点や考え方について、講話と演習により学びます。 ○ 学校の危機管理と教職員のメンタルヘルスⅠ・Ⅱ ○ 学校の危機管理と保護者・地域住民との協働Ⅰ・Ⅱ  本講座は単独受講が可能です。が、「405 学校の危機管理研究Ⅰ—①」と合わせて受講することで、学校における危機管理研究の全体的な考え方を学ぶことができます。 なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長及び香川大学大学院教育学研究科長による「受講証明書」が発行されます。 ※ さらに研修を深めたい方は、香川大学教職大学院が実施する「学校の危機管理研究Ⅱ」の授業講座を無償で受講することができます。詳しくは、香川大学教職大学院のWebサイトをご覧ください。					